

# 錦江に生きる

じゅうごにん目

このお  
まもる  
木尾 衛さん

(上原自治会)

▼お気に入りの大きなミヤマクワガタを手にする表情は少年の様



▲オオクワガタの状態を見る眼は温かくも鋭い

最後に何か一言ください。とお願いますと、妻にひとこと言いたいとのこと。実は剣道4段にゴルフも上手い、スポーツマンの衛さんも5年前大病をされて入院を繰り返しているとき看病に家業に家事と献身的に尽くしてくれた奥さんには本当に感謝しているそう。面と向かっては照れくさいからと「本当に感謝しています。これからは家族5人を合わせて健康で頑張っていきたいと思います。」と照れくさそうに話した。

田代が大好きで、地元の人たちが大好きなアニキがこれからは家族のため、みんなのために突っ走る!

親子三人で石油店を営む木尾衛さんは、知る人ぞ知るオオクワガタの育成名人。

衛さんは学生時代から父が築いた地域密着型の石油店を継ぐと決めており、鹿児島市で修行を積んだ後、田代に帰ってきたのだそう。衛さんの経営方針は地元との信頼関係を大切に、地元根付いた経営。昨今の石油高騰で大変な部分もあるが地元が必要としてくれる間は少々苦しくたって絶対にへこたれない!と力強く話す。そんな頼りになる衛さんだからこそと言えぬのが、数々の役職。剣道連盟にスポーツ少年団の育成会長など数えたらキリがない。大変じゃないですか?と尋ねると「大変なこともあるが、必要としてくれるのなら喜んで引き受ける」とやっぱり頼もしい答えが返ってきた。周りの人からも兄弟分的な存在で頼りになる頼もしい人。この声をよく聞く。

趣味を尋ねると、やはりオオクワガタの養殖と即答された。4年前に一組のつがいを譲り受けたのを最初に現在では百匹を超えるオオクワガタを育てている。今までの最大サイズは73ミリ。今の目標は80ミリだそう、日本記録の83ミリをいつかは抜きたい。と少年のような笑顔で笑った。今年からは「自然まるごと体験ツアー」用にカブト虫の養殖にも挑戦している。将来的にはクワガタやカブトで地域起こしが出来ないかと日々思索中だとか…。



このコーナーでは、町内これから根を張っていこうと頑張っている若者を中心に紹介していきます。

第15回目は、上原自治会の木尾衛さんです。

錦江町

## おもいで写真館

昭和50年  
大雪が降った後で

▶写真のご協力をお願いします。◀

「錦江町思ひ出写真館」に掲載する写真を募集します。撮影時期・場所・状況等を付けて、役場企画課へ持ち込むか郵送ください。お借りした写真は責任を持ってお返しします。



▲除雪作業も困難をきわめました

◀めったに作る事の出来ない鎌倉を作って交通安全祈願。よく見ると干支のウサギになってます。(吉崎子供会)

